

日野市 定例記者会見

令和8年3月5日(木) 午前10時から
市役所4階 庁議室



日野市
Hino City

Index

■ 令和8年度予算(案)の概要	2
■ 令和8年度主要施策等の柱	6
■ 省エネ家電買換え促進補助事業	8
■ ウォーキングアプリ事業	10
■ 都市計画道路3・4・24号線整備事業	13
■ 将来を見据えた公共施設の適正な配置と管理	16
■ DXなどによる職員人材の確保・創出	32
■ デジタル化の推進による市税等収納・徴収業務の効率化	37

Topics

1. 市内バス停の舗装などに「カーボンプールコンクリート」を採用	41
2. 今後の北川原公園ごみ搬入路について	45

補足資料	49
------	----



令和8年第1回日野市議会定例会提出
令和8年度予算(案)について

問い合わせ先 財政課

課長 佐藤 ☎042-514-8076

令和8年3月5日



日野市

Hino City

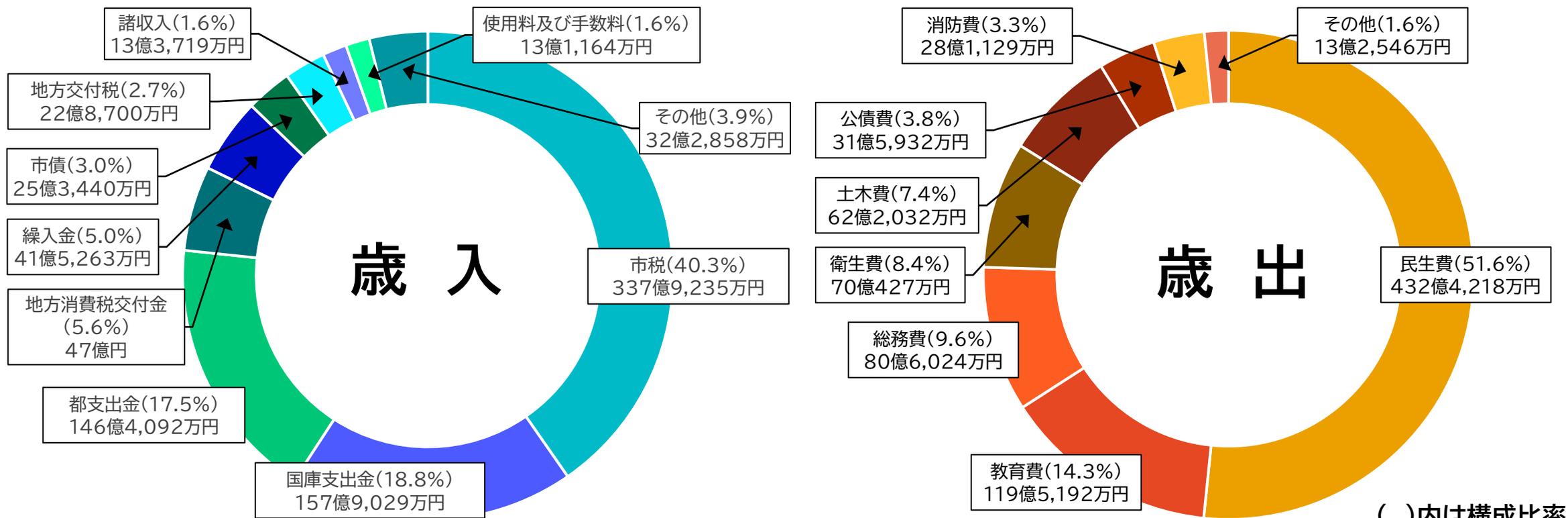
令和8年度 一般会計予算規模

837.8億円

※前年度比 +57.0億円 +7.3%

会計区分	令和8年度	令和7年度	増減額	増減率
一般会計	837億7,500万円	780億7,400万円	57億 100万円	+7.3%
特別会計	637億5,497万円	611億8,565万円	25億6,933万円	+4.2%
合計	1,475億2,997万円	1,392億5,965万円	82億7,033万円	+5.9%

一般会計予算規模 837.8億円(+57.0億円、+7.3%)



会計区分	令和8年度	令和7年度	増減額	増減率
一般会計	837億7,500万円	780億7,400万円	57億 100万円	+7.3%
特別会計	637億5,497万円	611億8,565万円	25億6,932万円	+4.2%
合計	1,475億2,997万円	1,392億5,965万円	82億7,032万円	+5.9%

歳入予算の概略〔一般会計〕

予算科目	予算額	増減額	増減率
市 税	337億9,235万円	+15億4,970万円	+4.8%
地方譲与税・各種交付金等	72億6,500万円	+11億1,633万円	+18.2%
地方交付税	22億8,700万円	+5,700万円	+2.6%
国都支出金	304億3,121万円	+29億3,632万円	+10.7%
繰入金	41億5,263万円	▲1億2,379万円	▲2.9%
市 債	25億3,440万円	+5億5,430万円	+28.0%

歳出予算の概略〔一般会計〕

予算科目	予算額	増減額	増減率
総 務 費	80億6,024万円	+6億3,986万円	+8.6%
民 生 費	432億4,218万円	+24億9,132万円	+6.1%
土 木 費	62億2,032万円	+7億3,247万円	+13.3%
教 育 費	119億5,192万円	+12億5,577万円	+11.7%

日野市

令和8年度主要施策等の柱

問い合わせ先 企画経営課

課長 西山 ☎042-514-8047

令和8年3月5日



日野市

Hino City

安心と健康を 市民に届け続けるために まずは、物価高から守る

令和8年度を通じて、次の主要な施策に取り組みます。
当面の方針として、次のことを掲げて市政運営を進めてまいります。

874,645千円

市民生活を 物価高から守る 経済支援策

- ① 市民を支える生活支援策
- ② 事業者を支える経営支援策

125,556千円

市民がより健やかに 暮らすための サービス展開

- ① 市民の健康をサポートする行政サービス
- ② ニーズに沿った医療・福祉体制整備

4,069,257千円

安心感ある豊かな 生活環境づくり

- ① 安全・安心なまちづくり
- ② 緑豊かなまちづくり
- ③ 次世代へ受け渡す持続可能な生活環境
- ④ 都市基盤整備の再起動・再加速
- ⑤ 精神的な豊かさを育む取組

990,891千円

将来を担う 子どもたちを育む 環境整備

- ① 子育て環境を充実させるハード整備
- ② 多様な子育て環境の確保
- ③ 教育現場を応援する、より良い育ちに向けた整備投資

704,406千円

持続可能で信頼される 行政基盤

- ① DX等による職員人材の確保・創出
- ② 行政サービスの原資となる税収の拡大
- ③ 総合的かつ計画的な公共施設の維持管理と更新
- ④ 市議会提言を受けた組織風土改革

市民生活を物価高から守る経済支援策

省エネ家電買換え促進補助事業

問い合わせ先 環境政策課

課長 成澤 ☎042-514-8294

令和8年3月5日



日野市

Hino City

省エネ性能の高いエアコン・冷蔵庫に買い換えを促進するため、購入費を補助

家庭で消費する電力の多くを占める家電として、「エアコン」「冷蔵庫」が注目されています。熱中症対策としても、特に「エアコン」は大事な家電です。

しかし・・・

なかなか家電の買い換えへ踏み込むのは、ハードルが高いです。
EX：電気代削減はどれくらい効果があるか分からない。物価も高騰している。

更に東京ゼロエミポイントも併用可能

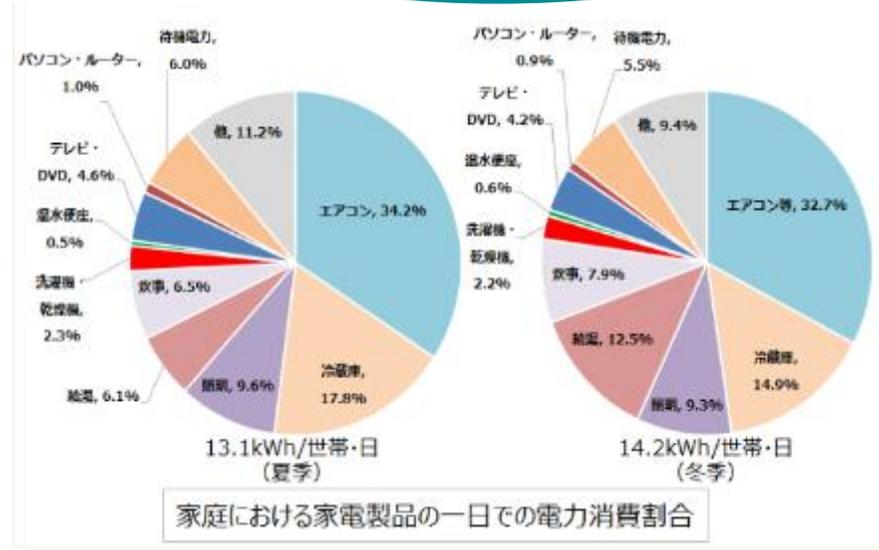
3人世帯が2014年製品を1台ずつ対象基準製品に買い換えると

年間削減効果は
電気代 5,000円以上！
CO₂排出量 80kg以上！

対策として

購入費の一部を補助し、省エネ性能の高い製品買い換えを促します。

対象	エアコン	冷蔵庫
基準	・目標年度2027年 統一省エネラベル★3以上 (冷房能力3.6kw以上★2.0)	目標年度2021年 省エネ基準達成率 100%以上 (省エネ性マーク グリーン)
補助	購入に要した費用(税抜)に対し、最大2万円を補助 (ただし、かかった金額の1/4を上限とします)	



市民がより健やかに暮らすためのサービス展開
ウォーキングアプリ事業

問い合わせ先 文化スポーツ課

課長 佐々木 ☎042-514-8465

令和8年3月5日



日野市

Hino City

「健康で幸福度の高いまち」の実現を目指し 令和8年4月20日に ウォーキングアプリをリリースします

【事業概要】

- スマートフォン向けのウォーキングアプリをインストールすることにより、歩くことをはじめとした健康に資する行動を促進し、市民のスポーツ実施率の向上やフレイル予防、健康増進を実現する。
- アプリの名称は、「ひの健幸アプリ」。通称・愛称は、「ひのけん」

【主な機能】

- 健康管理機能（歩数、体重、血圧等）
- ウォーキングマップ機能
- 健康コラムや体操動画配信
- 各種検診・体操事業・ウォーキングイベント参加等によるポイント付与機能
- インセンティブ（特典）申込



■ポイント付与について

- 歩数、アプリへのログイン、日々の体重・血圧の記録などの入力
- 市内ウォーキングコースの完走
- 市のウォーキング事業、健康・体操事業への参加、指定する検診の受診、健康コラムの読了やアンケート回答など

■インセンティブ（特典）について

- 幅広い世代に対してアプリを利用する動機付けとなるようにデジタル商品券や健康関連物品などを予定
- インセンティブの付与は年2回。9月及び2月頃に申込期間を設定し、抽選・発送を予定

■その他

- 操作説明会、コールセンターの設置などの対応を予定

安心感ある豊かな生活環境づくり

都市計画道路3・4・24号線整備事業

問い合わせ先 道路課

課長 小俣 ☎042-514-8421

令和8年3月5日



日野市

Hino City

概要と経過について

【都市計画道路名】
日野都市計画道路3・4・24号
旭が丘南北線

【区間】
日野市旭が丘四丁目 3番地先
～西平山三丁目19番地先

【延長】
約440m (橋梁部: 約200m)

【幅員】
16m～29m

【車線数】
2車線

【事業認可期間】
平成27年12月3日
～ 令和5年3月31日

【全体事業費】
(平成27年12月時点)
約 35億1,000万円

【事業認可対象事業費】
(平成27年12月時点)
約 24億8,000万円

■ これまでの経過

H27年度

・事業認可取得(平成27年12月3日)

平成29年度～
令和元年度

・橋脚工事(橋脚4基、橋台1基、橋桁1径間など)

令和2年

・財政非常事態宣言を発出(令和2年2月)

令和4年度

・事業休止届提出(令和4年12月22日)

令和5年度～6年度

・事業休止に伴う養生等の工事

令和7年度

・財政非常事態宣言解除(令和7年8月)

事業再開に向けて

位置づけ

- 日野市最重要幹線道路
- 道路のネットワークを構築する上でも必要な路線

整備効果

- 道路渋滞の緩和
- 公共交通の充実
- 経済の発展や防災機能強化
- 地域間交流

事業背景の変化

- 昨今の物価動向
- 資機材・労務費などの高騰
- 事業費の上振れリスクが高まっている

変化への対応

- 事業費の圧縮（事業期間や工法、新技術の採用など）
- 財源確保（国・都の補助金など）
- 竣工後の維持管理費の軽減

令和8～9年度 修正設計

- 事業計画を精査
(事業費、スケジュール等)
- 一日も早く工事再開し、開通を目指す！

安心感ある豊かな生活環境づくり
将来を担う子どもたちを育む環境整備
持続可能で信頼される行政基盤

将来を見据えた 公共施設の適正な配置と管理

問い合わせ先 公共施設総合管理担当

参事 宮田 ☎042-514-8083

令和8年3月5日



日野市

Hino City

日野市が抱える公共施設の課題

■ 老朽化の進行

市が保有する公共施設239施設のうち、建築後30年以上が経過する建物は面積ベースで全体の77%

■ 人口構造の変化

今後の人口減少や少子高齢化による利用需要の変化

■ 迫りくる維持管理の限界

現在の公共施設をすべて維持する場合、今後30年間で約894億円が不足

全庁的な公共施設マネジメントを強化

1. 個別施設計画に基づく公共施設の整備
必要な改築や長寿命化等を着実に実行
2. 再編計画に基づく公共施設の最適化
複合化、多機能化、共用化等により「縮充」を実現
3. 公共施設における維持管理の改善
行政による施設管理の縦割りに民間活力を導入

(1) 個別施設計画に基づく公共施設の整備

日野第一小学校改築・南平小学校長寿命化改修に係る基本計画策定業務を実施

- (背景) ◆ 市立小中学校の施設老朽化が進行（築40年以上の建物の割合が7割超）
- ◆ 「日野市新たな学校づくり・社会教育施設づくり推進計画」を令和7年3月に策定
 （学校施設の長寿命化及び改築等の整備に関する中長期計画（平成29年3月）の改定）

(事業の概要)

	日野第一小学校	南平小学校
既存建物	床面積：約5,600㎡ 築年数：43～62年	床面積：約6,200㎡ 築年数：44～51年
計画上の位置付け	事業区分：全部改築 事業期間：R8～12年度 整備費：43億4,610万円	事業区分：長寿命化改修 事業期間：R7～11年度 整備費：23億9,470万円
基本計画策定業務の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・2校併せて業務委託にて実施 ・委託期間：R8年5月～R9年7月（予定） ・予算額：110,660千円（債務負担行為） 	

(2) 再編計画に基づく公共施設の最適化

① 日野本町地区公共施設再編事業



日野本町地区における主な再編対象施設

再編計画の考え方

■ 集約拠点 I

中央公民館、中央福祉センター、ひの児童館、日野図書館、日野宿交流館は、複合公共施設として改築（建替え）

■ 集約拠点 II

- 日野第一小学校は、単独で改築（建替え）
- 生活・保健センター等は、既存建物を維持管理（当面、改築はしない）



複合施設の施設計画

■ 敷地A複合施設

2階建て複合施設（延床面積2,000㎡程度）とし、1階に「日野図書館」、2階に「ひの児童館」を配置

■ 敷地B複合施設

2階建て複合施設（延床面積1,000㎡程度）とし、1階に「日野宿交流館」、1～2階に「中央公民館」を配置

■ 敷地C

駐車場等を配置（イベント空間としても活用）

■ 複合施設全体

複合施設共用部として、共用貸室とオープンスペースを配置



事業コンセプト

みんなの思い思いの活動が

つながりを生み

未来をはぐくむ“場”

- 目的にあわせて自由に過ごせる空間の提供により、みんなにとって居心地の良い“場”とします。
- 再編事業を通じて複数の機能が集まり、混ざりあうことで、新たな使い方や、新たな交流が生まれる相乗効果が発揮される“場”とします。
- だれもが同じものを同じように使える、時間の変化によってニーズが変化しても、柔軟に適應できる未来をはぐくむ“場”とします。

多様な交流



多様な活動



サービスの拡充

事業方式、概算事業費

■ 事業方式

本事業に適すと考えられる有力な事業方式は、複合施設等の設計、建設、維持管理、運営を一括して実施するDBO (Design Build and Operate) 方式とします。

■ 概算事業費

本事業の施設整備に係る概算事業費は、計58.9億円と試算しました。

今後の予定・令和8年度関連予算

■ 今後の予定

令和8年度から令和9年度にかけて、本事業を実施する民間事業者の募集、選定、事業契約を実施し、令和10年度以降に設計、建設を一体的に進め、令和14年度以降に敷地A複合施設の供用開始、令和15年度以降に敷地B複合施設の供用開始を目指します。

■ 令和8年度関連予算

- | | |
|-----------------------------------|----------|
| • 日野本町地区公共施設再編事業に係るアドバイザー業務委託料 | 31,449千円 |
| • 日野本町地区公共施設再編事業に係る事業者選定審査委員会委員謝礼 | 168千円 |
| • 日野本町地区公共施設再編事業に係る建材成分調査業務委託料 | 3,273千円 |

(2) 再編計画に基づく公共施設の最適化

②三沢周辺地区子育て支援施設再編基本構想等の策定

■ 概要

三沢周辺地区における子育て支援施設等の利便性の向上と効率的な再編を推進するため、令和7年度に実施した機能集約に向けた基礎的な検討の結果を踏まえて、令和8年度から令和9年度にかけて、再編に関する**基本構想**及び**基本計画の策定、民間活力導入可能性調査**を行います。

■ 対象施設（12施設）

①みさわ保育園、②あらい保育園、③たかはた台保育園、④もぐさ台保育園、⑤みさわ児童館、⑥もぐさだい児童館、⑦八小学童クラブ、⑧三沢学童クラブ、⑨子育てひろば「あかいやね」、⑩駅前ミニ子育て応援施設「モグモグ」、⑪0歳児ステーション「おむすび」、⑫ファミリー・サポート・センターたかはた

■ 予算額

三沢周辺地区子育て支援施設再編基本構想等策定支援業務委託料

合計 37,785,000円（令和8年度12,716千円、令和9年度25,069千円 債務負担行為）

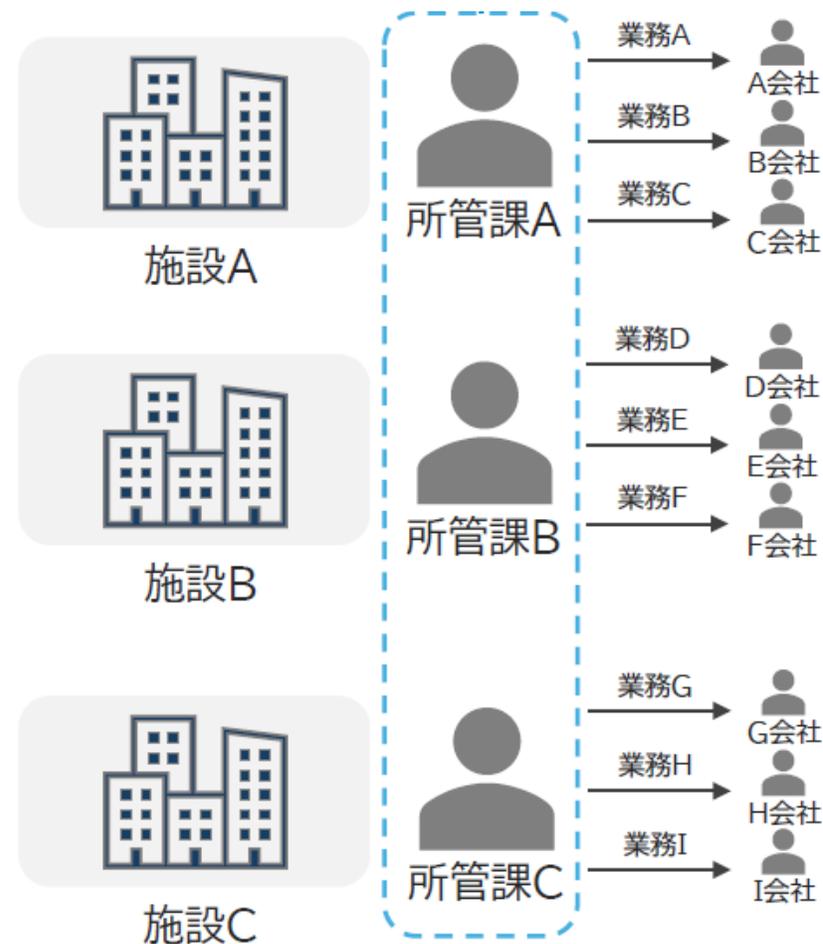
(3) 公共施設における維持管理の改善

① 公共施設包括施設管理業務の導入



公共建築物の維持管理の現状

市では、それぞれの施設の維持管理を、施設ごと、課ごと、業務ごとに、個々に行っており、この縦割りの管理で生じる、業務水準のバラつき、契約などの事務負担、技術力の不足等が課題となっています。



包括施設管理業務の導入により 現状の施設管理を改善

市では、主な公共建築物の保守点検や小修繕等の維持管理業務について、建物総合管理の技術やノウハウを持った民間事業者と連携し、一括管理することにより、維持管理水準の向上、施設管理業務の効率化、施設管理体制の充実を図り、公共施設の安全性の向上に取り組めます。



民間事業者が行う主な業務



- 保守点検等の委託業務の監修
 - 保守点検等の仕様書の精査や調整による品質とコストの適正化
 - 点検結果を踏まえた法令、安全性、緊急性を加味した不具合箇所の報告
- 小修繕業務の監修
 - 現地確認、見積合わせ、契約、支払いといった手続きを実施
- 施設管理システム導入による維持管理データの一元化
- 施設の定期巡回点検による不具合の早期発見と安全確保

業務概要・令和8年度関連予算

- 業務名称 日野市公共施設包括施設管理業務
 - 対象施設 本庁舎、小中学校、保育園、児童館、学童クラブ、市営住宅、図書館、公民館等 146施設
 - 対象業務 ①定例的な保守点検業務 16種、258業務
②日常的な小修繕業務 882件/年（1件あたり税込50万円未満）
 - 業務期間 令和8年4月1日～令和13年3月31日（5年間）
 - 委託費 約23.7億円（5年間の税込総額）
 - 受託者 日本管財株式会社
-
- 令和8年度関連予算
公共施設包括施設管理業務委託料（債務負担行為分） 473,259千円

持続可能で信頼される行政基盤

DXなどによる職員人材の確保・創出

問い合わせ先 情報政策課

課長 萩原 ☎042-514-8969

令和8年3月5日



日野市

Hino City

保育所入所 A I 選考システムの導入について

- 保育入所選考に A I システムを導入し、選考時間を大幅に削減（時間外労働の削減・結果通知の早期化を図ります）
- 令和8年度当初予算額＝保育所入所 A I 選考システム導入委託料 9,975千円

導入前

Excel

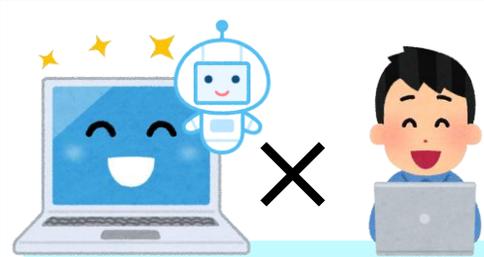


Excel手作業

①認可保育所等の4月入所申込みは約1,300件。選考手続きは、**職員3人以上でExcelで手作業**の選考を行っている。特に、11月から3月までは繁忙期で時間外労働が多い。

②申込みから結果発送まで**約4カ月程度**かかっており、結果通知が届いてから、承諾者は入園の準備、不承諾者は他の入所可能施設への検討など、保護者の検討時間の確保が課題。

導入後


×


A I 選考

①選考作業時間を**約97%削減**可能。事務の効率化により、時間外労働時間を削減、新たな行政課題に対応。

②**結果通知が約2週間程度早まる**ため承諾者は復職への準備、不承諾者は認可外等の入所可能施設の検討など保護者の検討時間を創出。

電子請求サービスの導入について



- 事業者は、インターネットサイトで請求書等が作成できる。また、複写や修正も簡単に可能。項目の整合性チェックでケアレスミスも軽減。
- 作成した電子請求書等は、メール等で送付でき事務コストの削減が可能

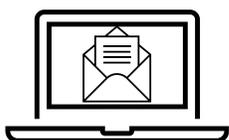
- 市は、請求に基づく支払いが確定したら情報をインターネットサイトにアップロードすることで、振込通知書機能により請求者は、リアルタイムでの入金メールが受領できると同時にその内訳も確認できる。

電子請求サービス導入に伴うAI-OCR・RPAの導入イメージ

①事業者電子請求書作成



②請求書受領



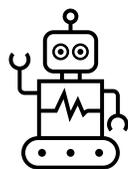
③伝票起票



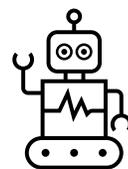
④会計審査



⑤事業者へ支払



AI-OCR/RPAによる
請求書格納と自動起票



AI-OCR/RPAによる
電子審査補助

RPA導入による効率化促進

- 請求書を電子で受領できるようになれば、
②請求書受領から③伝票起票までの間に
RPAにより自動で作業できる幅が広がる。
(例) 庶務課における請求書格納とシステム
上での伝票自動起票を行うRPAシナリオ

- 審査を電子で行うようになることで、③伝票
起票から④会計審査までの間にRPAにより
自動で作業できる幅が広がる。
(例) 会計審査における突合作業の補助を
行うRPAシナリオ

市ホームページで 個に応じた「手続き」や 「サービス」をご案内 市ホームページUI/UX改善事業

■ AIサイト内検索

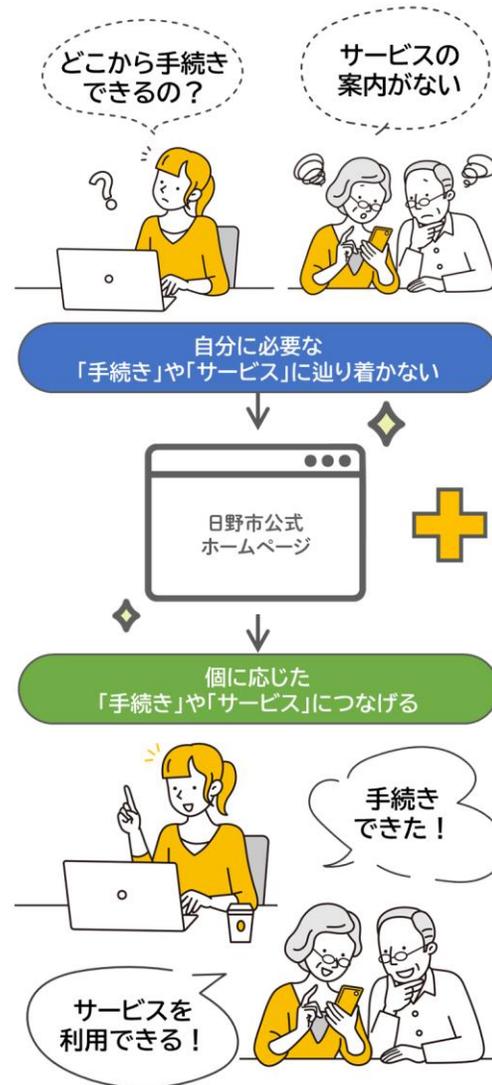
単語の表記ゆれの吸収や、自然言語による質問に対応

■ レcommendサービス

利用者の行動データから、他の利用者がよく見ているページをリストアップし提案

■ 行動分析・パーソナライズ化ツール

利用者の行動データの分析や簡単な設問に対する回答などから、ホームページの表示をパーソナライズ化



AIサイト内検索・レcommendサービス

探す



【AIサイト内検索】で
自然言語での検索が可能に

サイト
訪問



【レcommendサービス】で
同じページを見た他の利用
者がよく見ている関連
ページをおすすめ表示

行動分析・パーソナライズ化ツール

サイト
訪問



ユーザー行動の把握



【行動分析・パーソナライズ
化ツール】で
利用者の行動を把握し、
必要としている
「手続き」や「サービス」への
最適な導線を提示

分析・施策設計・実装

見る・
理解する



情報のパーソナライズ化

持続可能で信頼される行政基盤

デジタル化の推進による 市税等収納・徴収業務の効率化

問い合わせ先 納税課

課長 松井 ☎042-514-8259

令和8年3月5日



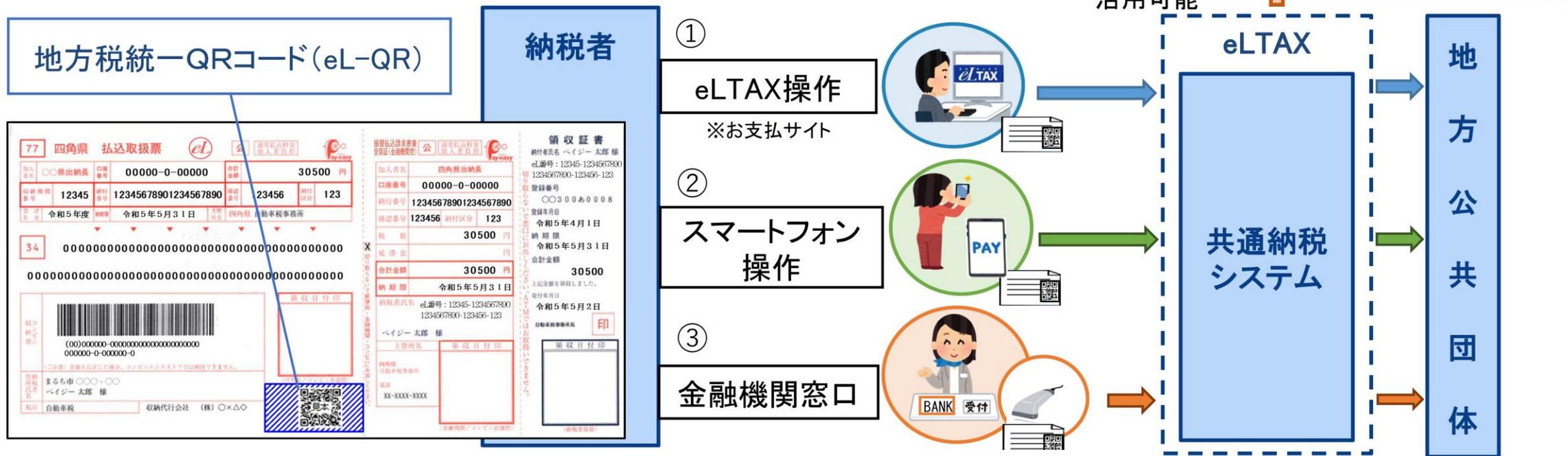
日野市

Hino City

(1) 後期高齢者医療保険料におけるeL-QRの導入

令和8年9月24日以降、地方税共通納税システム上で後期高齢者医療保険料の電子納付が可能に

■ eLTAXを通じた電子納付(イメージ)



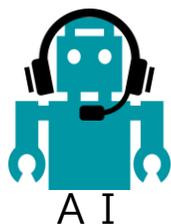
※図は、令和8年2月総務省作成『eL-QRを活用した公金収納の開始に向けた留意事項等について』より転載



(2) AI及びSMSを活用した自動電話催告

AI・SMSを搭載した自動電話催告システムへ移行し、利便性の向上・効率化を図ります

AI音声認識機能により
会話形式で本人確認が可能となり、
回答時の番号操作が不要に



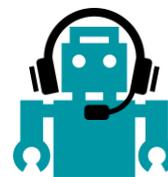
日野市です。
〇〇様ですか？

はい

市税が未納です…



SMS（ショートメッセージサービス）により
電話を取らない方にも
着実に催告が可能



着信拒否



SMSを送信

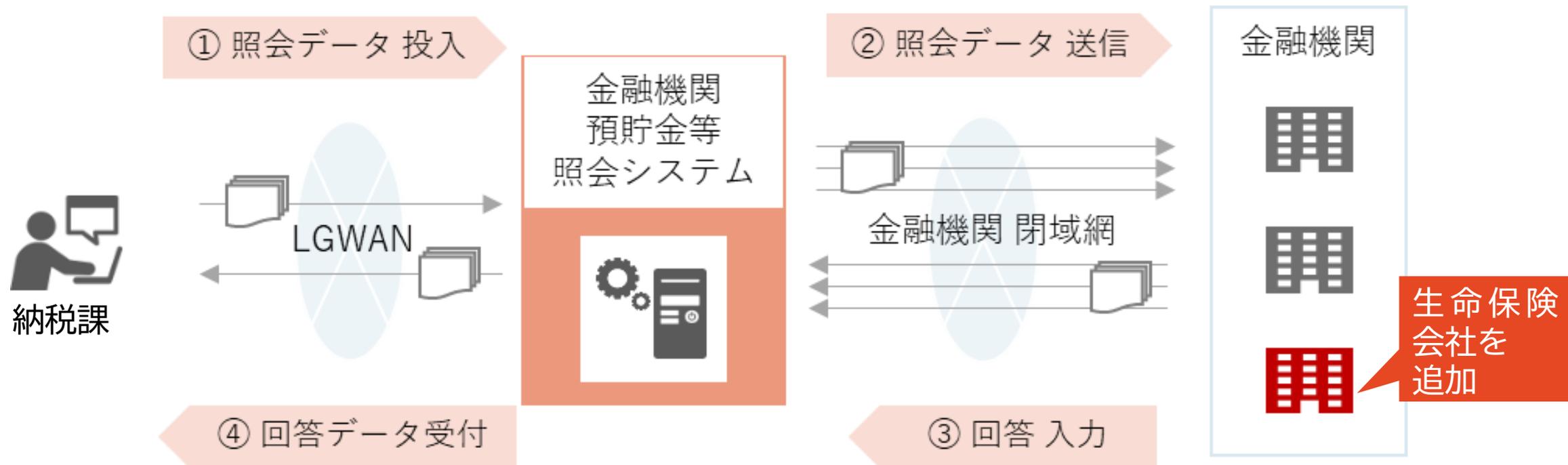


市税が未納です…



(3) 保険会社に対する財産調査業務のデジタル化

紙文書の郵送から、システムに移行することで、効率化を図ります



Topics 1.

市内バス停の舗装などに 「カーボンプールコンクリート」を採用

問い合わせ先 区画整理課

課長 井上 ☎042-514-8395

令和8年3月5日



日野市

Hino City

「カーボンプールコンクリート」

日野市気候市民会議からの提言

～カーボンニュートラルシティHINOの実現に向けて～

カーボンニュートラルの実現に向けてすぐに取り組めることを実行に移す

- 【提言2 環境に配慮したモノを普及する】環境に配慮したモノをつくる事業者を支援する
- 【提言2 環境に配慮したモノを普及する】環境に関する新技術の開発を支援する
- 【提言37 二酸化炭素の吸収を進める】二酸化炭素を吸収する装置を開発する

カーボンプールコンクリート（CPコンクリート）

- 民間企業・大学等15者からなるコンソーシアムがNEDO（国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構）の事業で開発
- 二酸化炭素（CO₂）を吸収・固定するコンクリート
- CPコンクリートの車道への適用は**全国初の適用事例**

これまでの事例



日野市はカーボンニュートラルシティHINOを目指す一環として、本技術の社会実装を支援します

豊田駅南口バス停の舗装にCPコンクリートを施工 (CPコンクリートの車道への適用は**全国初の事例**)



施工前のバス停舗装はわだち掘れが大きく、ひび割れなどの損傷が進んでいる。



高耐久かつ環境配慮型のCPコンクリートをバス停舗装に施工

製造時に0.1tのCO₂を固定したと推計※



完成

耐久性も高くライフサイクルコストも低減

西平山あそびばの園路舗装・ベンチにCPコンクリートを施工



西平山あそびばベンチにCPコンクリートを施工

製造時に0.9tのCO₂を固定したと推計※

(現場打設後の養生時のCO₂固定量は現在測定中)



西平山あそびば園路スロープ舗装等にCPコンクリートを施工

製造時に1.6tのCO₂を固定したと推計※

Topics 2.

今後の北川原公園ごみ搬入路について

問い合わせ先 ごみゼロ推進課 課長 小澤
 施設課 課長 細谷
☎042-581-0444

令和8年3月5日



日野市
Hino City

《北川原公園ごみ搬入路の状況》

【経緯】

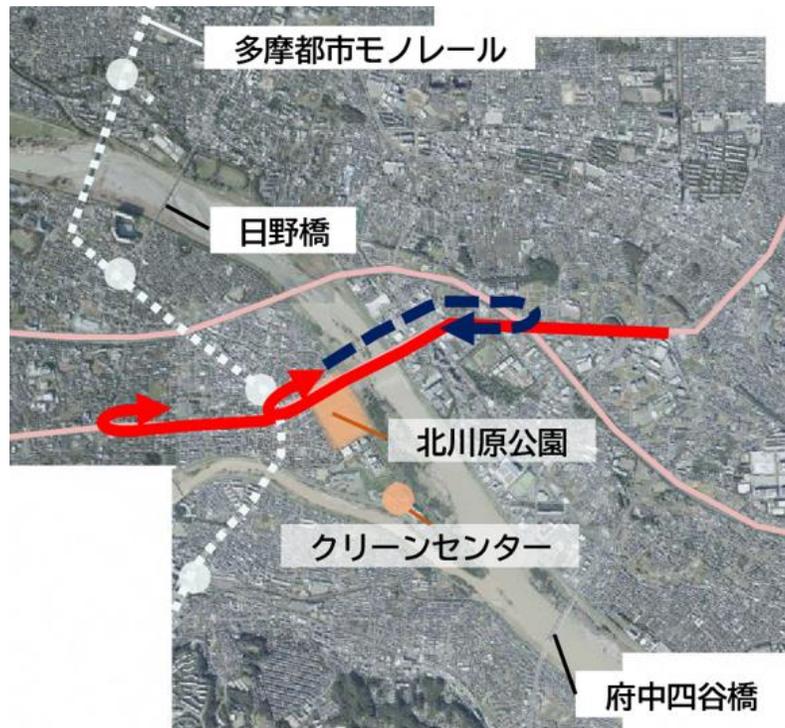
- 令和5年10月「日野市北川原公園ごみ搬入路の違法性解消に向けた検討会」を設置
 - 「搬入路を北川原公園の北側に集約し立体化する」という案が最終的な提言書として提出された
 - 搬入ルートの変更が必須
(実施に当たっては社会実験が必要)
次ページの搬入ルート3案



《北川原公園北側集約立体化案実現ルート》

【搬入ルート3案】

①国道20号バイパスでUターン



②府中四谷橋ルート



③日野橋ルート



《市の最終判断》

- ① 市内交通への影響等確かめる社会実験は「交通安全上の懸念」「変更ルート沿道の周辺住民の理解・協力が得られない」という状況から断念。
- ② 一番影響を受ける地元3自治会は「現行ルートの継続」を強く要望。



これまでの「行政に対する不信感を払しょく」「新たな住民同士の意見対立、紛争を招かない」との2つの方針から、住民の理解や協力が得られない中で搬入ルートの変更はできないと判断

【結論】「令和3 1年度までの24年間は現行ルートの継続」
(浅川清流環境組合存続期間)

現行ルート



都市計画法上の違法性は
既に「**解消済**」

将来を見据えた公共施設の適正な配置と管理 補足資料



検討経緯

令和4年度より、老朽化施設が集積する日野本町地区の取り組みを、市の公共施設再編のパイロットプロジェクトと位置付け、再編検討に着手しています。

- 令和5年3月 「日野市公共施設再編モデル基礎検討資料」作成
- 令和6年3月 「日野本町周辺地区公共施設複合化・多機能化検討業務報告書」作成
- 令和7年3月 「日野本町地区公共施設再編基本構想」策定
- 令和8年3月 「日野本町地区公共施設再編基本計画」策定（予定）

敷地A複合施設

■ 日野図書館（1階）

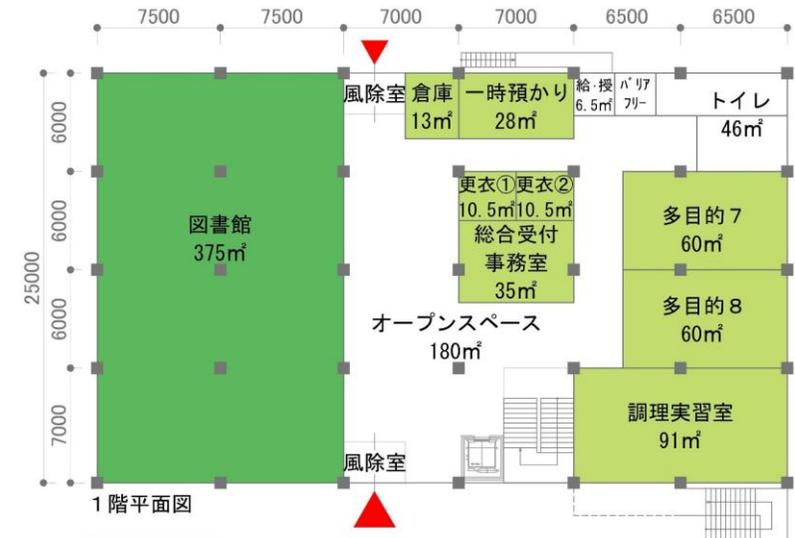
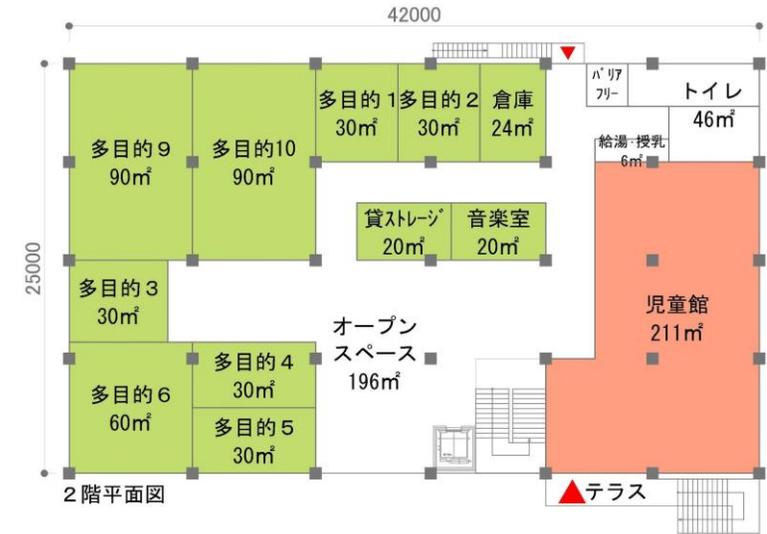
児童書コーナーやブラウジングコーナー等を充実

■ ひの児童館（2階）

遊戯エリアや図書エリア等を充実

■ 複合施設共用部（1～2階）

多様な活動に対応した共用貸室やオープンスペースのほか、
調理実習室、保育室、音楽室等を配置



敷地B複合施設

■ 日野宿交流館（1階）

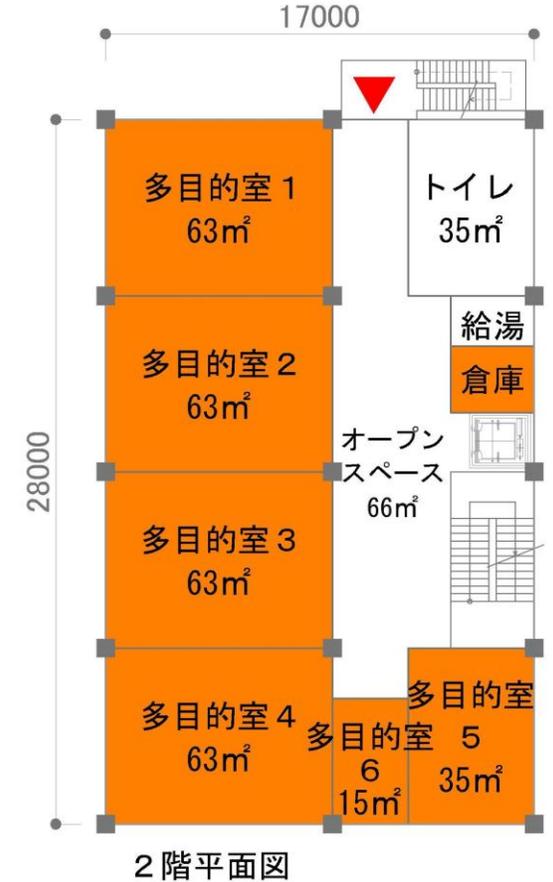
新選組や日野宿に関する史資料を展示

■ 中央公民館（1～2階）

利用人数や用途にあわせて選択できる複数の大きさの貸室を配置

■ 複合施設共用部（1～2階）

多様な活動に対応したオープンスペースのほか、地域活動のスペースとして多目的室を配置



整備イメージ



外観パース（甲州街道側からの鳥瞰）



内観パース（敷地A複合施設1階）



内観パース（敷地B複合施設2階）

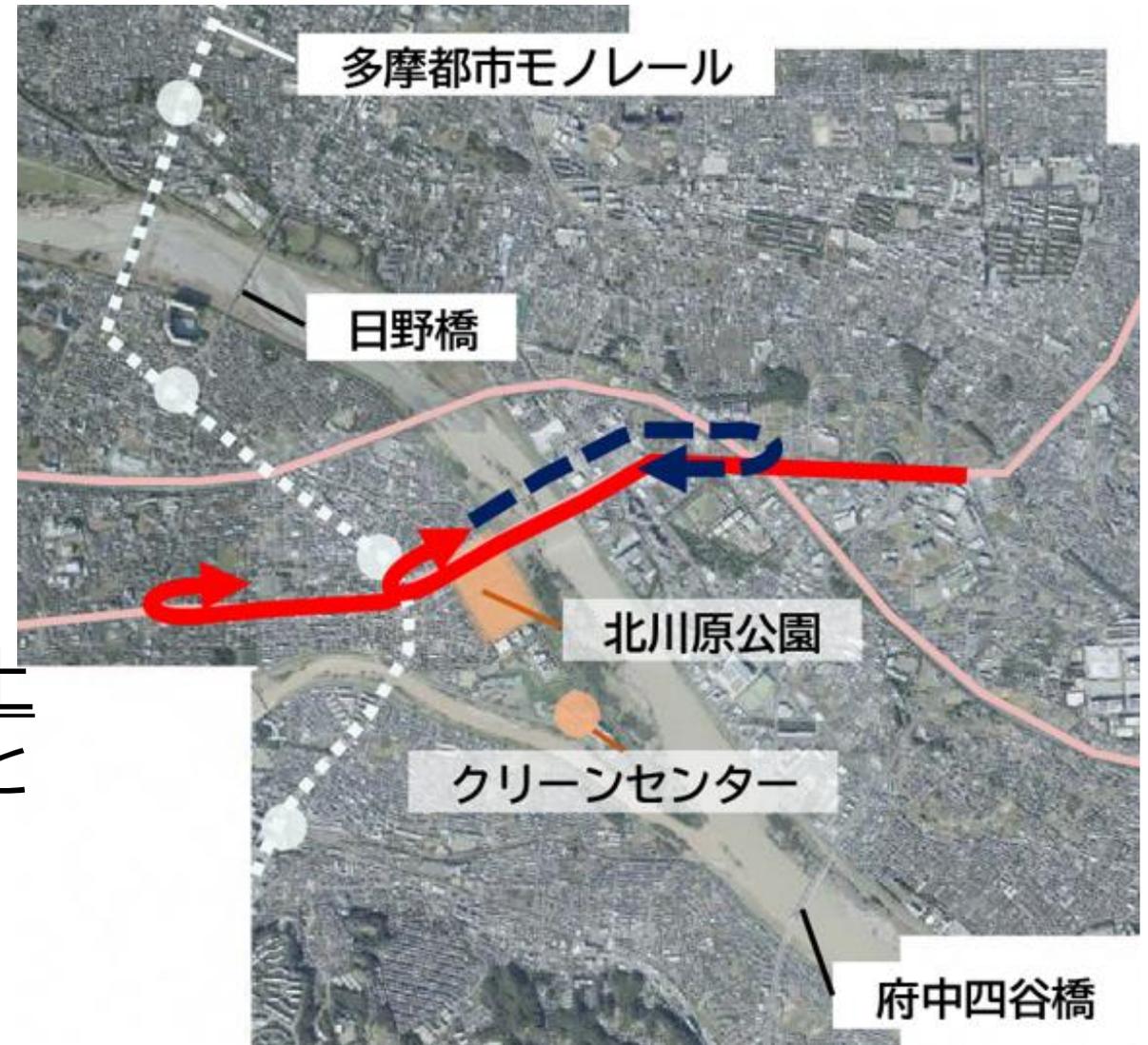
今後の北川原公園ごみ搬入路について 補足資料



【検討結果】

①国道20号バイパスでUターン

新たに右折信号の設置が
できないなど、人身事故や
車両同士の接触事故等の交通安全上
の課題が大きいため、実施不可能と
の結論に至った。



【検討結果】

②府中四谷橋ルート

新井橋通行や万願寺交差点での右折について、かねてから周辺自治会からの強い反対意見があり、
これを受け北川原公園内に搬入路を整備した経緯もあるため、実施不可能との結論に至った。



【検討結果】

③日野橋ルート

沿道を含む周辺住民の理解・協力を図るため、影響が考えられる自治会等の代表者に対し状況説明およびごみ収集車両通行について直接意見を伺った。

その結果、「子どもの通学や生活環境への影響が懸念されるため賛成できない」といった意見が大半を占めたため、実施不可能との結論に至った。

